

2025
10/30
木

CNを加速させる！ 「省エネ推進に活かせるデータ」 とその可視化事例解説

LIVE配信

省エネ法でいう「工場等判断基準」では、エネルギー管理のための計測及び記録が、事実上の義務として求められています。省エネという目的の実現には、「改善活動のネタが抽出できるデータはなにか」も含み置いて、その分析等を通じ、今取り組んでいる改善活動を適切に評価するなど、「手段」としての計測の価値を少しでも高める意識が必要です。本講座では「使える計測（及び記録）で現場を見える化」をキーワードに、運用改善・投資改善の如何に関わらず、エネルギーの使用を最適化（ひいては脱炭素）するよう促していくという観点と、目下、各企業様が抱える人手不足や労務管理（特に熱中症対策）などへの課題への対応も含めて、「次の時代」を見据えたエネルギーマネジメントを進めるための「見える化」に活用可能な事例解説を致します。

カリキュラム

講師：(一財)省エネルギーセンター 省エネ技術本部 マネージャー 鈴木 伸隆

- 13:10~14:35 **1.現場で使える！Microsoft EXCEL®でできる！省エネデータ分析の「いま」**
 - ・引き続き重要！原単位管理と「固定エネ削減」や「CO₂排出抑制」等との繋がり(おさらいを兼ねて)
 - ・冷房期の省エネ:「熱中症」「暑さ指数」をどう理解し、計測し、算出し、伝播させるか
 - ・自工場のエア漏れ単価: xlsを用いた試算方法と「見せる化」
 - ・データに基づく太陽光発電システムのエネルギー管理……管理標準に落とし込もう！
 - ・結露対策: 基本的な考え方とデータによる現状把握&改善策 ほか
- 14:50~16:15 **2.リマインド！「技術的かつ経済的に可能な省エネ取組」の定量的評価法**
 - ・「技術の進歩」「運用改善のテーマ」等を考慮した、省エネ取組みの経済性評価(例)
 - ・シナリオ分析を用いた「単純投資回収年数法の“深読み”」と省エネ取組みへの展開 ほか**3.データがあれば実行可能！エネルギー管理の「次世代化」にむけて**
 - ・遠隔監視による「省人化」と「新たな省エネ案件発掘」: 課題はなにか
 - ・エネルギーマネジメントの向上に役立つ「生成AIの使い方とデータの扱い」
 - ・次の省エネのために「ぜひ知っておきたい知識、データ、分析手法」はある？
- 16:20~16:40 **4.まとめと全体質疑応答**

受講要領

- **日時**：2025年10月30日(木) 13:10~16:40
- **受講条件**：インターネット環境の整ったパソコンやタブレット等をご用意ください。
- **申込方法**：右の二次元コードで表示された申込みフォーム（Googleフォーム）よりお申込みください。
- **受講料**：**賛助会員:19,800円 一般:24,750円**
(税込) 賛助会員 ⇒ <https://www.eccj.or.jp/member/index.php>
※診断プロ倶楽部会員、CEMSAR登録審査員、省エネ・脱炭素エキスパート、エネルギー使用合理化専門員は賛助会員料金でご受講いただけます。
- **支払方法**：請求書をメールにてお送りします。原則、開催日前日までに受講料をお振込みください。(振込手数料はご負担願います)
- **注意事項**：10月27日資料送付、10月28日Zoom招待メール送付
キャンセルは10/24までです。
それ以降のキャンセルについては、理由の如何を問わず受講料をご請求させていただきますので代理の方の参加をご検討いただき、お知らせください。

お申し込みはこちらの二次元バーコードをスマホ等で読み込むか、クリック(タップ)してください



申し込み締めきり日
10/27(月)